

2026年3月期 決算説明資料

株式会社オーイズミ

2026年6月4日

OIZUMI

table of contents

- I 決算概要
- II 中期経営計画の進捗
- III ご参考

I 決算概要

オーイズミグループの事業構成

アミューズメント事業

遊技機及び周辺機器の製造販売

パチスロ ICカード
ユニット パチンコ



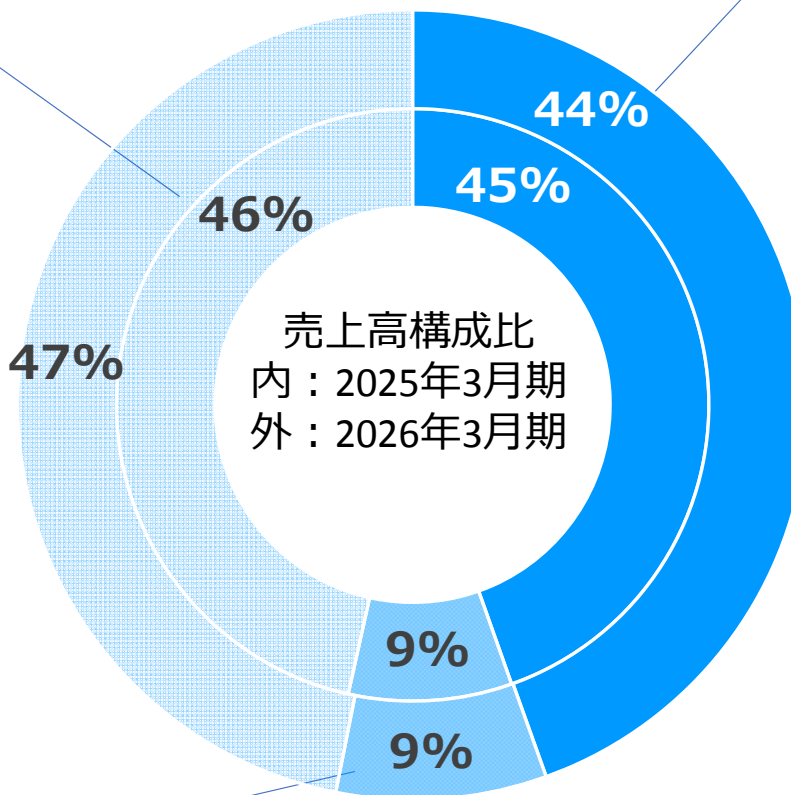
(C)竜騎士07/07th Expansion

OIZUMI



(C)2014 榎宮祐・株式会社KADOKAWA
メディアファクトリー刊/ノーゲーム・ノーライフ
全権代理委員会

TAKAO



不動産事業・電気事業

食品・EC事業

健康食品、蒟蒻ゼリー、化粧品等の開発製造販売

健康食品



PURELLS
ピュアリス

蒟蒻ゼリー



OIZUMI
株式会社 オーズミ下仁田

プロテイン



化粧品等



武内製薬 株式会社

2026年3月期 サマリー

- 食品・E C事業の成長を軸に収益性が向上し、増収増益で着地

(百万円、%)	25.3期	26.3期	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	20,113	21,720	1,607	8.0%
売上総利益	6,363	7,507	1,143	18.0%
売上総利益率	31.6%	34.6%	—	2.9pt
営業利益	93	705	612	654.2%
営業利益率	0.5%	3.2%	—	2.8pt
経常利益	72	661	589	816.2%
親会社株主に帰属する				
当期純利益	246	596	350	142.2%
一株当たり当期純利益 (EPS)	10.95円	26.52円	—	—

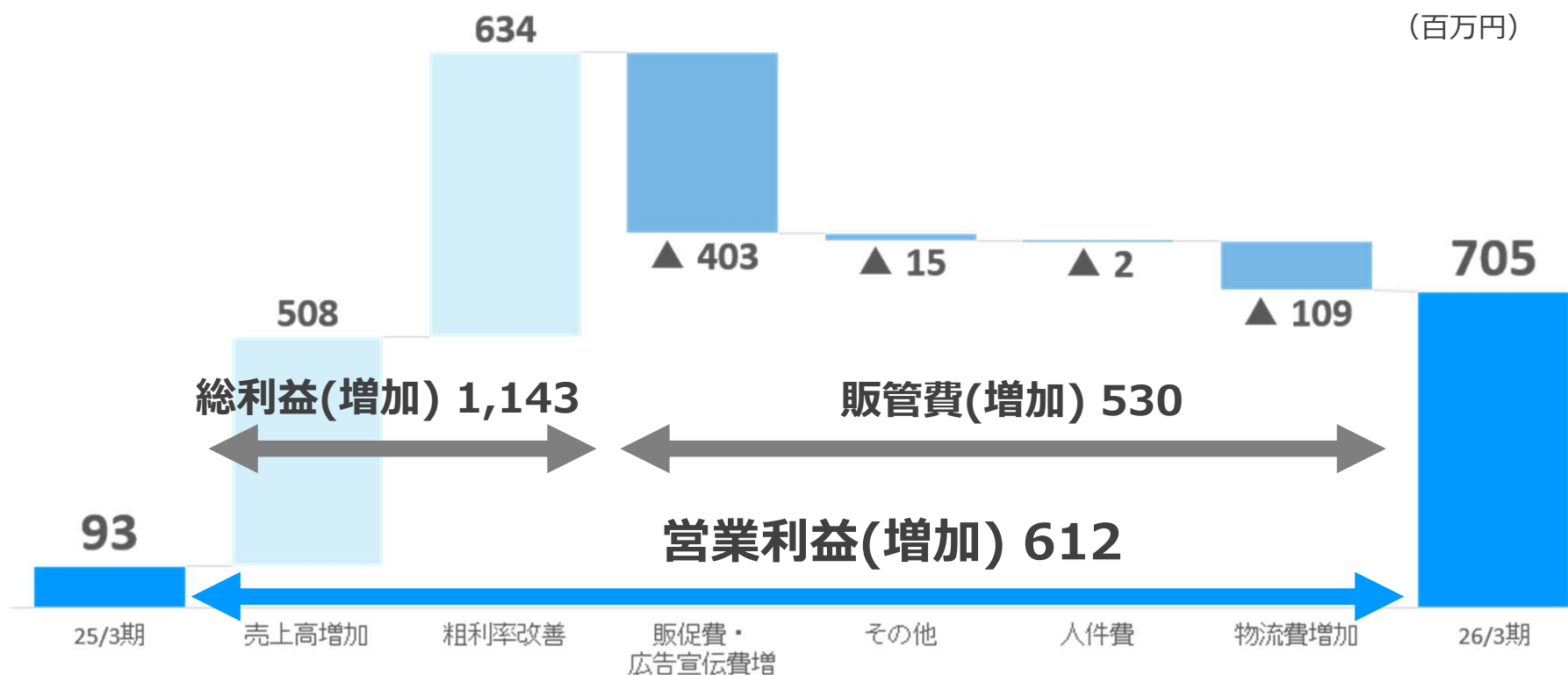
セグメント別売上高・損益

- 食品・EC事業は引き続き好調、アミューズメント事業は黒字化

(百万円、%)	25.3期	26.3期	増減額	前期比 増減率
売上高	20,113	21,720	+1,607	+8.0%
食品・EC事業	8,967	9,668	+701	+7.8%
アミューズメント事業	9,352	10,182	+829	+8.9%
不動産事業	815	857	+42	+5.2%
電気事業	978	1,012	+34	+3.5%
セグメント利益	659	1,256	+597	+90.7%
食品・EC事業	139	209	+70	+50.4%
アミューズメント事業	▲394	97	+492	—
不動産事業	416	399	▲17	▲4.1%
電気事業	497	550	+52	+10.5%
調整額	▲565	▲551	+14	
営業利益	93	705	+612	+654.2%

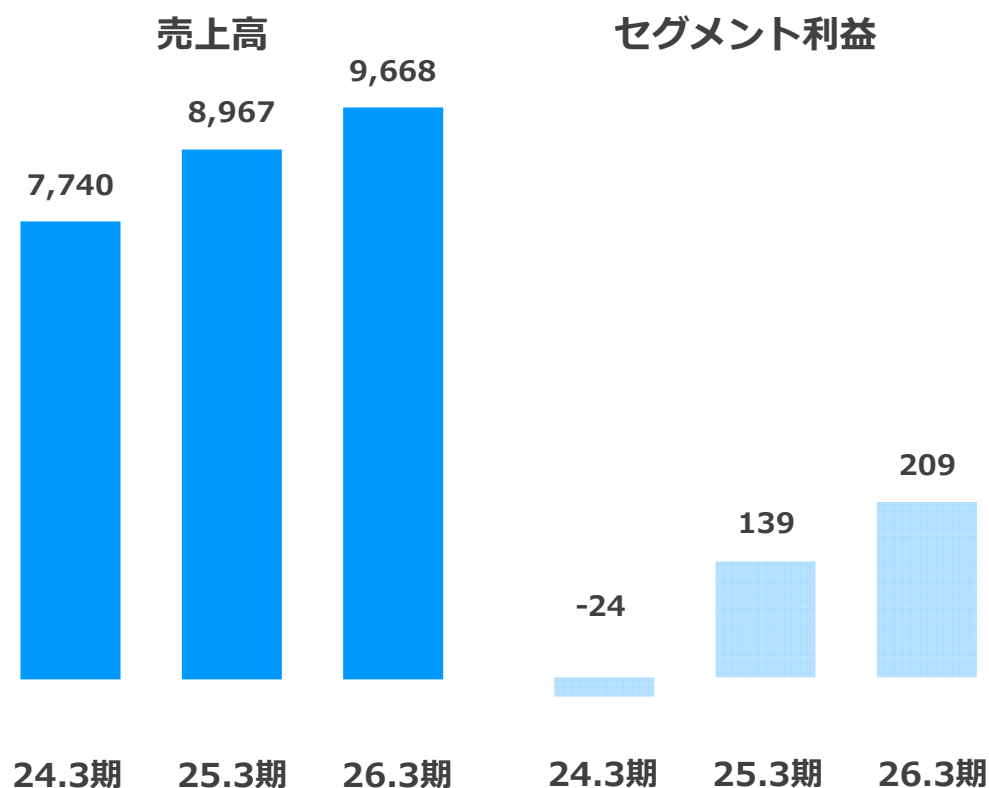
営業利益増減要因

- 売上拡大と粗利率改善で販促費・宣伝広告費物流費や物流費の増加を吸収



食品・E C 事業

- 自社ブランドとO E Mの二軸で展開を進め、売上高・利益とも成長



売上高
+7.8%

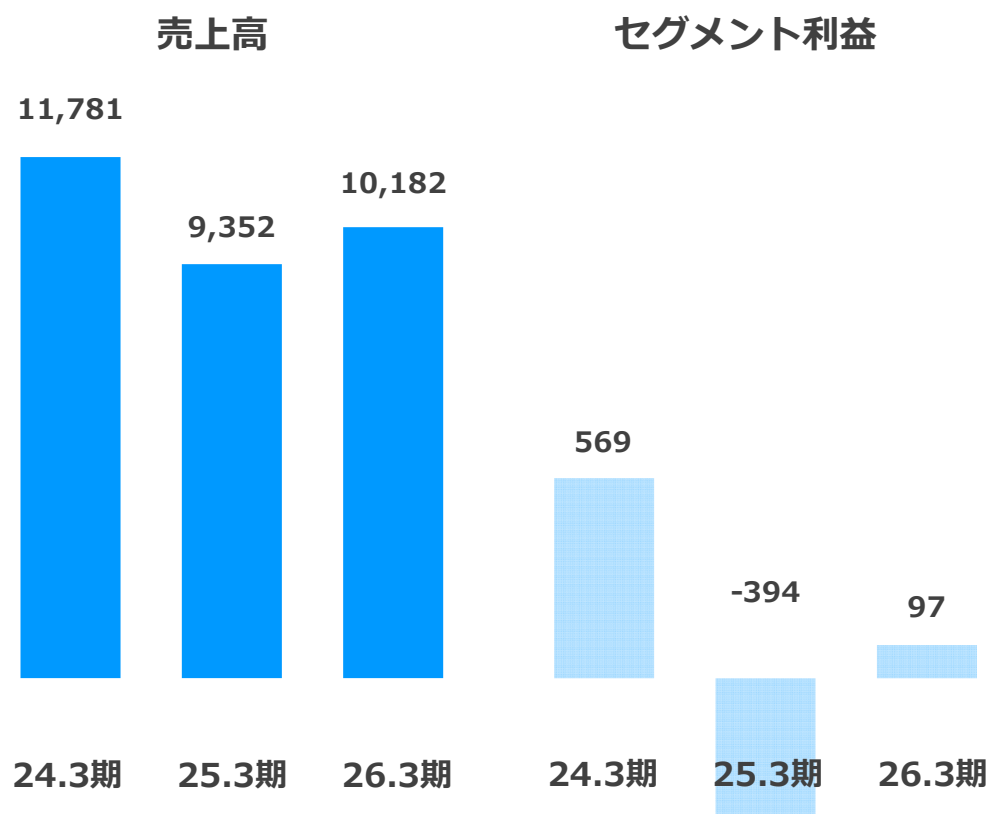
- 腸活関連市場の拡大を背景に、食物繊維カテゴリ等が好調

セグメント利益
+50.4%

- 広告宣伝費、物流費等の増加はあるも、健康食品等の増収効果が寄与

アミューズメント事業

- スマート化で縮小する周辺機器を遊技機の新機種がカバーし、通期黒字化を実現



売上高
+8.9%

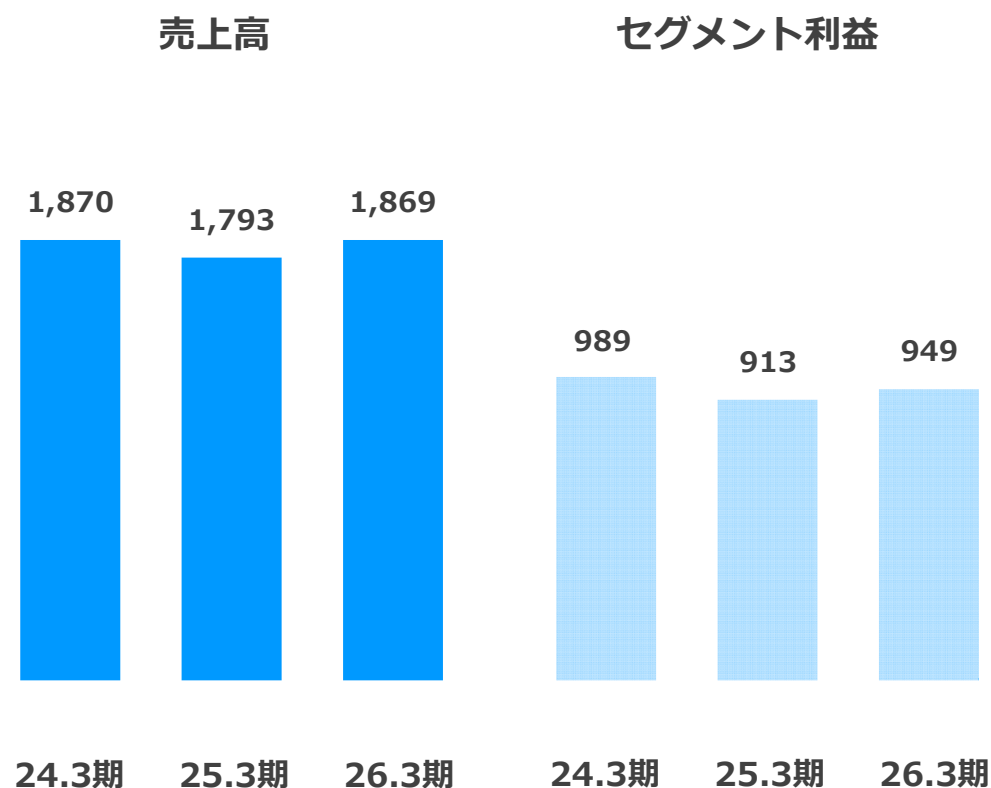
- 周辺機器は減少するが、遊技機の新機種販売がカバーし増収

セグメント利益
黒字化

- 「L 少女☆歌劇レヴュースタアライト - The SLOT」の再販、再々販などが利益貢献

不動産・電力事業

- 不動産・電気事業とも安定収益確保に努め、一部保有不動産の入れ替えを実施



売上高
+4.2%

- 不動産事業、発電事業とも安定稼働により増収

セグメント利益
+3.9%

- 発電事業の順調な稼働と、保守、管理の徹底が奏功

バランスシート/キャッシュフロー

貸借対照表サマリー

(百万円)

	25.3期末	26.3期末	増減額	補足
流動資産	17,931	16,918	▲ 1,013	電子記録債権（703百万円減少）、前渡金（874百万円減少）
固定資産	21,027	23,812	2,785	建物及び構築物（2,038百万円増加）、土地（1,077百万円増加）
資産合計	38,958	40,730	1,772	
流動負債	8,631	7,114	▲ 1,517	電子記録債務（425百万円減少）、短期借入金（597百万円減少）
固定負債	12,019	14,958	2,938	長期借入金（2,973百万円増加）
負債合計	20,651	22,072	1,420	
純資産合計	18,307	18,658	351	
負債純資産合計	38,958	40,730	1,772	
現金及び預金	6,970	8,004	1,033	
有利子負債*	15,660	17,914	2,253	
ネット有利子負債	8,689	9,909	1,219	

*リース債務除く

キャッシュフロー計算書サマリー

(百万円)

	25.3期	26.3期	増減額	補足
営業CF	354	2,142	1,788	税金等調整前当期利益（1,019百万円）、減価償却費（783百万円）
投資CF	382	▲ 2,933	▲ 3,316	有形固定資産の取得による支出（3,980百万円）
財務CF	▲ 1,766	1,824	3,591	長期借入金の収入及び返済（2,852百万円）
フリーCF	737	▲ 790	▲ 1,528	

2027年3月期事業環境と取り組み

事業環境

食品・EC 事業

- 美容・健康意識の高まりと購買行動多様化により健康食品市場は拡大継続
- ジャパンブランドの人気は高く、インバウンドの需要は継続

アミューズ メント 事業

- 遊技場を取り巻く経営環境は厳しく、大手の勝ち組とそれ以外の二極化が加速し、パチンコホールの店舗減少が続く
- スマート遊技機の普及進展によりメダル計数器等周辺機器の需要が減少

不動産 電気事業

- 安定した金利水準や投資家需要を背景に、不動産市場は堅調
- 地価や建築価格の上昇傾向が継続

今後の取り組み

- 消費者ニーズに合わせた商品開発
- OEM事業において国内外新規顧客獲得と新工場の本格稼働
- 遊技機は射幸性を抑え、重点コンテンツに絞った機種づくりを推進
- 開発全体のコスト構造の見直しと、販売体制の合理化を図る
- 収益性の高い良質な賃貸物件の模索と、経営資源の効率的活用等を図るため、保有資産見直し等を検討

2027年3月期予想

- 食品・E C事業の拡大は継続し、アミューズメント事業のコスト構造改革で増収増益見込み

(百万円、%)	26.3期	27.3期	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	21,720	22,500	780	3.6%
売上総利益	7,507	8,000	492	6.6%
売上総利益率	34.6%	35.6%	—	1.0pt
営業利益	705	950	245	34.8%
営業利益率	3.2%	4.2%	—	1.0pt
経常利益	661	850	189	28.6%
親会社株主に帰属する	596	600	4	0.7%
当期純利益				
一株当たり当期純利益 (EPS)	26.52円	26.67円	—	—

2027年3月期 セグメント別予想

■ 食品・EC事業のブランディング強化とアミューズメント事業の改革進捗を計画

(百万円、%)	26.3期	27.3期	増減額	前期比 増減率
売上高	21,720	22,500	+779	+3.6%
食品・EC事業	9,668	10,495	+827	+8.6%
アミューズメント事業	10,182	10,278	+95	+0.9%
不動産事業	857	788	▲69	▲8.1%
電気事業	1,012	938	▲74	▲7.4%
セグメント利益	1,256	1,500	+243	+19.3%
食品・EC事業	209	250	+41	+19.6%
アミューズメント事業	97	360	+262	+270.2%
不動産事業	399	388	▲11	▲2.8%
電気事業	550	500	▲49	▲9.0%
調整額	▲551	▲550	+1	▲0.2%
営業利益	705	950	+244	+34.6%

投資計画

(百万円)

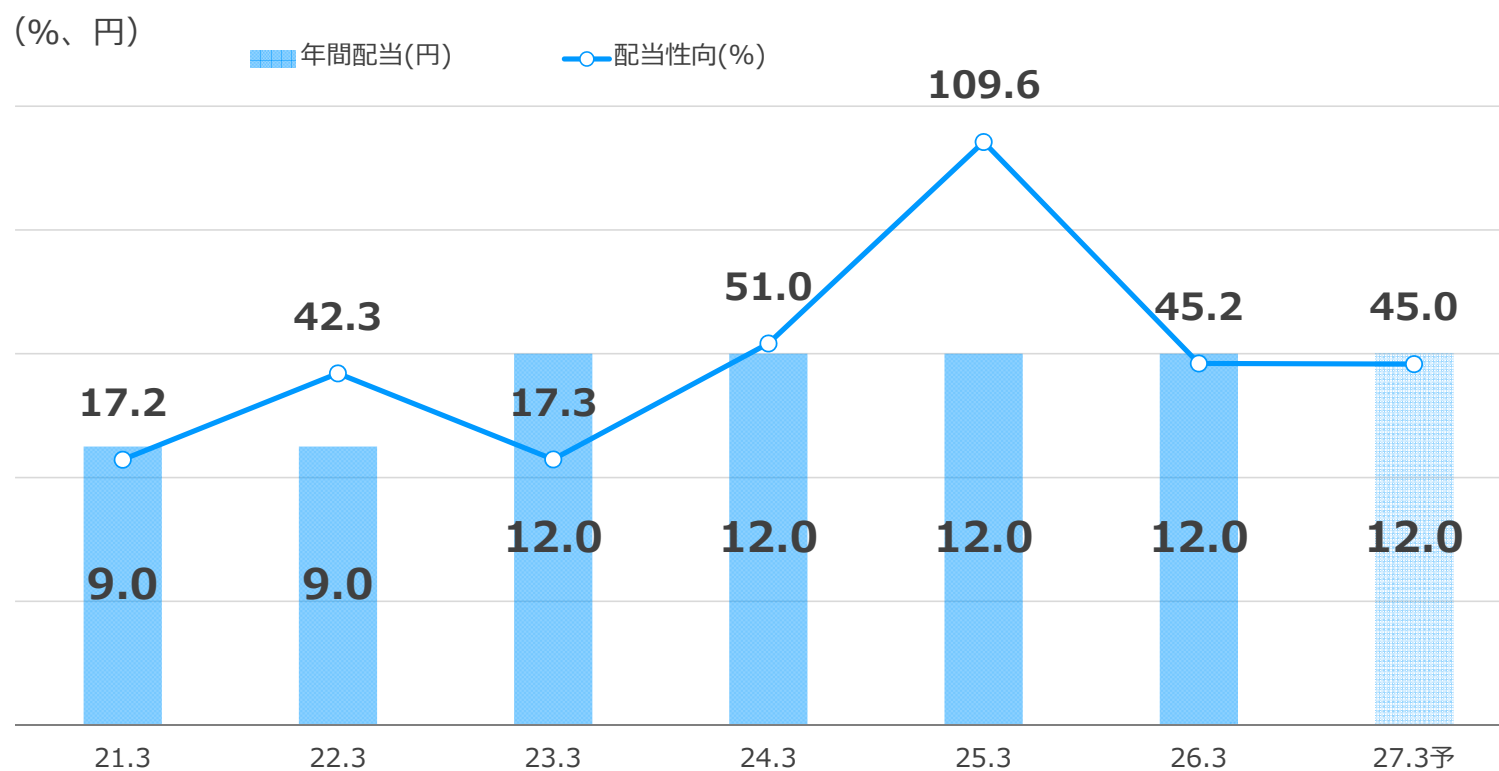
■ 2027年3月期の設備投資は減少予定

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	2027年3月期 計画
設備投資	2,257	4,780	650
減価償却費	860	783	650
研究開発費	1,698	986	1,425

	【設備投資】	【設備投資】	【設備投資】
主な内容	食品生産設備	賃貸用不動産	オーイズミ下仁田新工場
	【研究開発】 遊技機	オーイズミ下仁田新工場 遊技機販売促進用見本機	【研究開発】 遊技機
		【研究開発】 遊技機	

株主還元

- 2027年3月期は1株12円の配当を予定し、配当性向は45%程度を見込む。



Ⅱ 中期経営計画の進捗

中期経営計画の基本方針

- 競争力向上、収益力強化、経営体制強化を基本方針とする

競争力向上

- 差別化戦略

1. 商品開発
2. ブランド強化
3. プロモーション

収益力強化

- 事業最適化

1. 事業ポートフォリオ最適化
2. 固定費削減
3. 生産性向上

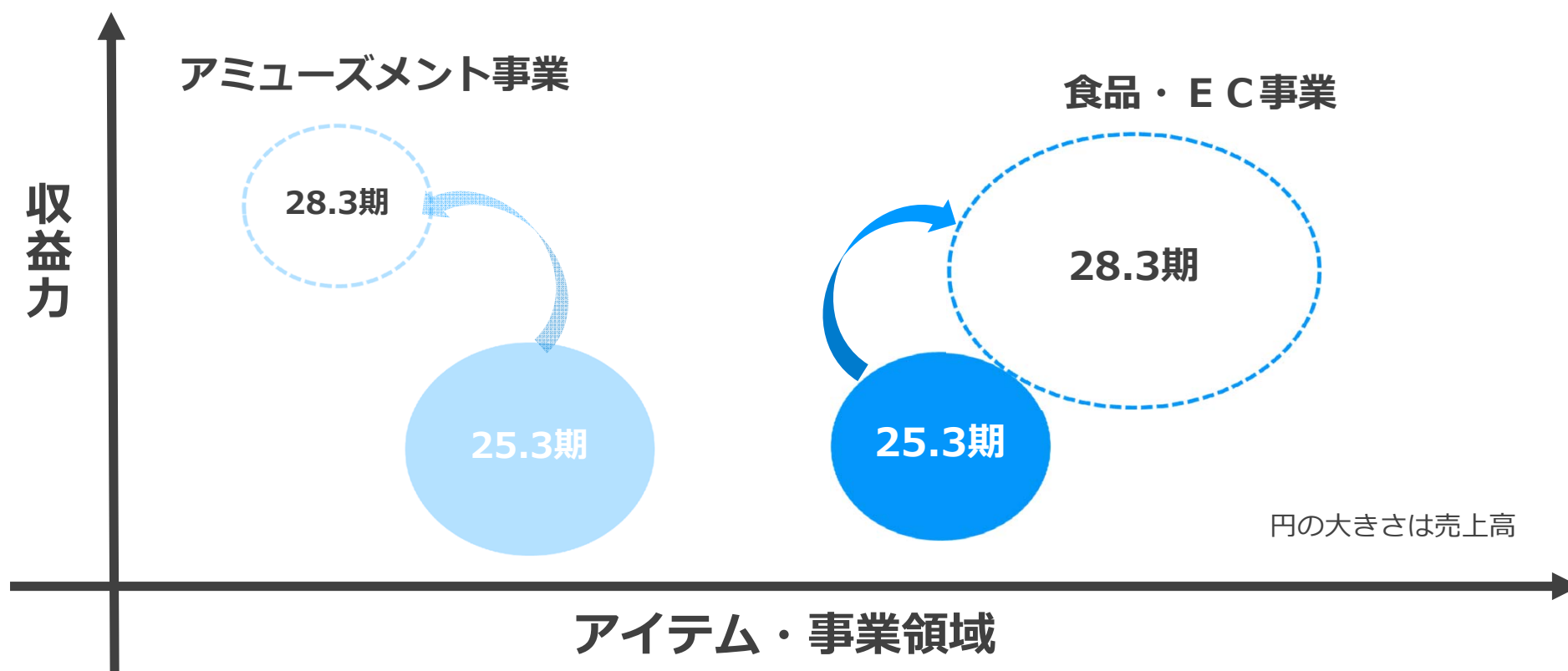
経営体制強化

- 経営資源配分

1. 事業投資
2. 人材投資
3. グループ経営管理

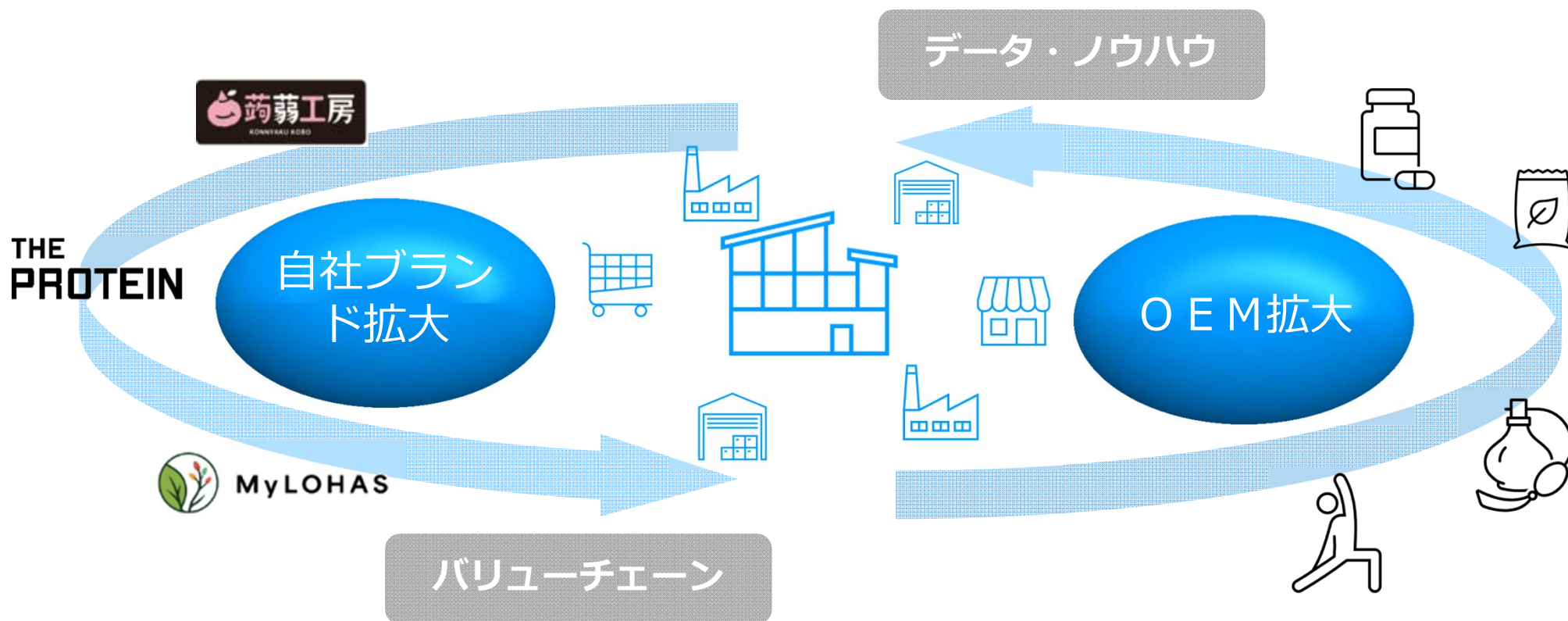
中期経営計画で目指す方向性

- 食品・E C事業は自社ブランドとOEMで事業領域と収益を拡大、アミューズメント事業は得意分野に集中しコスト削減と生産性向上を図る戦略



食品・EC領域／成長戦略

- 需要拡大が期待される健康・美容領域で自社ブランドとOEM事業を展開し、バリュエーションとデータ・ノウハウの活用により成長サイクルを実現



競争力向上／ブランド強化



- MyLOHASブランドの立ち上げ／4領域のサブブランドで消費者ニーズに対応
(2026年4月に LOHASStyle をリブランディング)

サブブランド (専門カテゴリー)	主要製品	概要
MyLOHAS GUT (腸内フローラケア)	 	イヌリン、難消化性デキストリン等の食物繊維をメインに、腸活に特化したインナーケア専門ブランド
MyLOHAS SPORTS (スポーツ)	 	ホエイプロテインなど、女性目線の栄養・美容サプリメントブランド
MyLOHAS STYLE (ダイエット)	 	ステビア、アルロース他低カロリー甘味料やおからパウダーなど低糖質専門ブランド
MyLOHAS WELLNESS (生活習慣)	 	茶類やビタミン、DHAなど、健康習慣専門ブランド

収益力強化／生産性向上



- 新工場の本格稼働により国内外の旺盛な需要に対応

株式会社オーイズミ下仁田の新工場が本格稼働

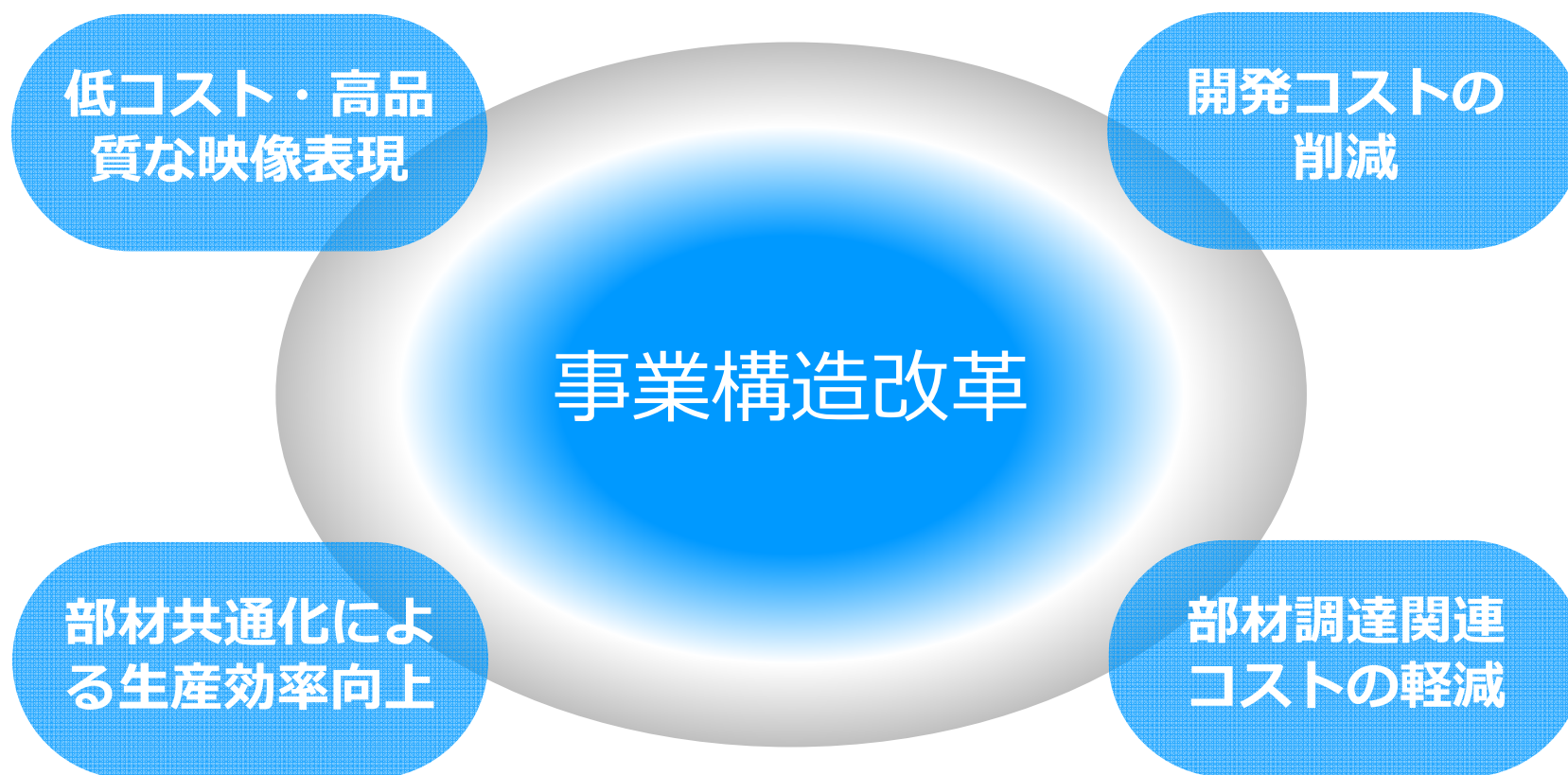
- 新工場が2026年5月から本格稼働
- 国際認証規格 FSSC22000を取得（食品安全システム）
- 生産効率向上を図り、OEM需要増に対応



所在地：群馬県甘楽郡下仁田町馬山4050-1

収益力強化／アミューズメント事業

- REAL A+プロジェクトと、重点コンテンツに絞った機種づくりを推進



収益力強化／アミューズメント事業

■ 開発・販売両面での改革を推進

項目	取組施策
開発戦略	<ul style="list-style-type: none"> ■ ZEEG筐体*の活用推進 ■ IPのシリーズ化 ■ REAL A+プロジェクト推進 *他社で主流の高射幸性機種と一線を画し「遊技としての面白さ」を追求)
販売戦略	<ul style="list-style-type: none"> ■ 営業拠点統廃合（対応済） ■ 販売網強化の検討

*サミーとユニバーサルエンターテインメントが共同で設立した「ジグ合同会社」が開発・製造する遊技機の共通筐体



REAL A+ プロジェクト

25/3月期

ZEEG筐体



「L少女☆歌劇 レヴュースタァライト -The SLOT-」

26/3月期



「Lパチスロうみねこのなく頃に2」

27/3月期

ZEEG筐体



「Lパチスロ 喰霊-零-Re」

他社が技術的に難しい「リアルボーンラス機」でブランド確立を目指す。

Ⅲ ご参考

長期ビジョン

豊かな未来を“創造”

～基本方針～

人々の生活に関わる事業を通じて、
豊かな未来を想像し創造いたします。

食品・E C 事業の主要企業と事業概要

主要子会社	事業内容	主要ブランド	代表者
武内製菓(株)	「もっと自分を好きになる」体験を世界に届ける、をビジョンに掲げ、化粧品・健康食品等を企画製造販売	THE PROTEIN 	小倉 由渡 
(株)オーイズミピュアルズ (旧バブルスター)	「食べたものから体は創られる」を企業理念に、低糖質食品他の健康食品を企画製造販売	MyLOHAS 	小倉 由渡
(株)オーイズミ下仁田	「誰がためにこんなにやくを造る」を想い、美味しさと幸せをお届けすることに情熱を傾け、蒟蒻製品を企画製造販売	蒟蒻工房 	柿澤 孝勇 

アミューズメント事業の主要企業と事業概要

主要子会社	事業内容	主要製品	代表者
(株)オーイズミ	「長く深く遊べる遊技機」をモットーに、ファンがついてくれる遊技機と周辺機器を開発・販売	パチスロ、周辺機器 	大泉 秀治
(株)高尾	「弾球黙示録カイジ」、「クイーンズブレイド」などパチンコで看板シリーズで固定ファンを獲得	パチンコ 	大泉 秀治 (会長) 

免責事項

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

本資料およびIRに関するお問い合わせ先

株式会社オーイズミ 管理部

電話 : 046-297-2111

E-mail : irinfo@oizumi.co.jp

URL : <https://www.oizumi.co.jp/>